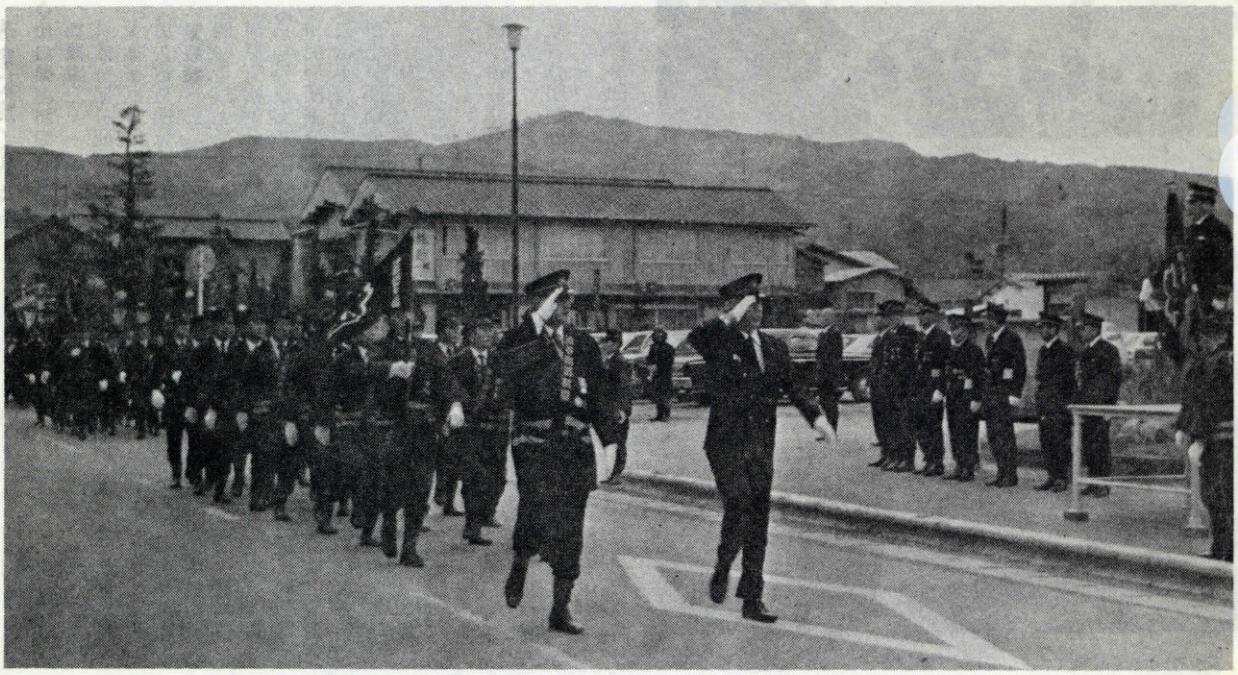
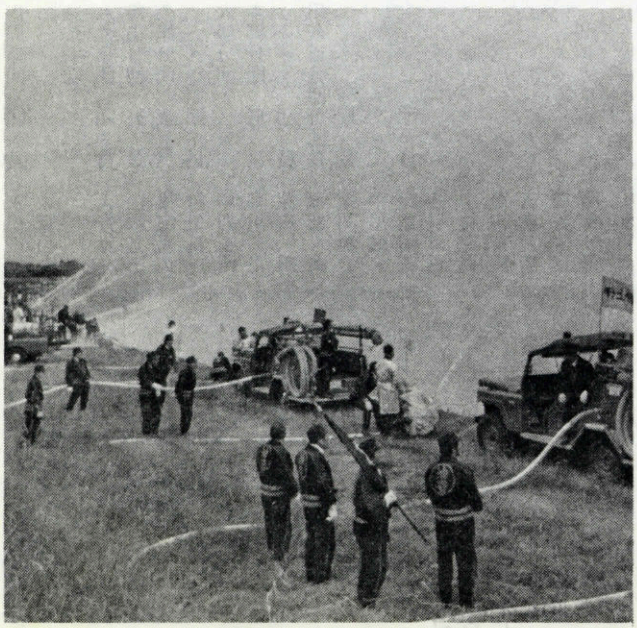
広報ゆや

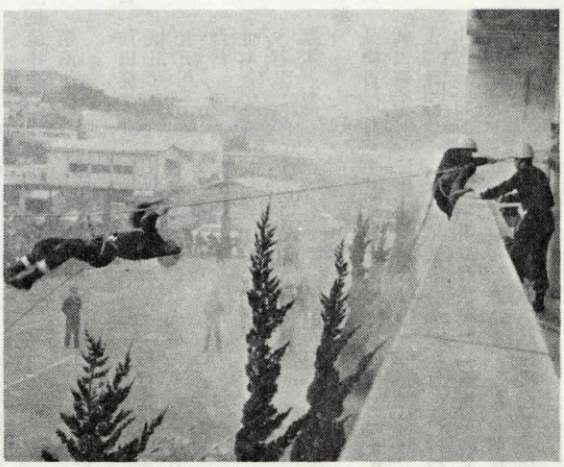
76
51
2・1
No. 162
発行　油谷町役場
印刷　粟野印刷ＫＫ



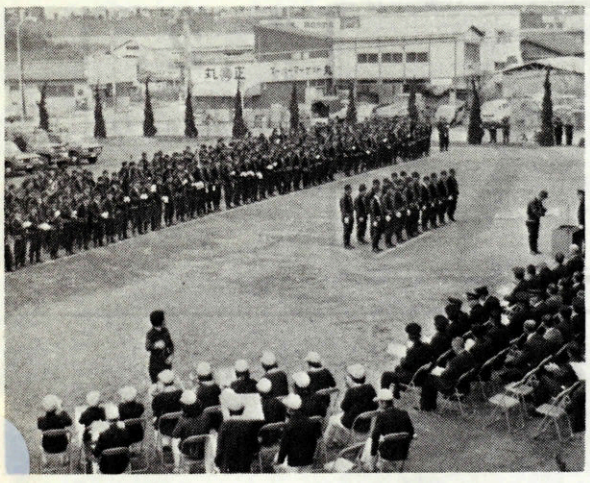
（とじて保存して下さい）

新春をかざる
消防出初式





表彰や放水訓練
盛大に消防出初式



年頭恒例の町消防出初式は、一月七日午前九時菱中ブラスバンドを先頭に、町内一三分団、本部員消防署員、総員四〇七名と消防車一四台によるパレードは、駅通りの街頭行進をかわきりに庁舎前で松永町長の観閲をうけ庁舎南広場に勢揃いして式典が盛大に行われた。

功労者表彰や永年勤続者表彰のあと、隅田川堤で勇ましい放水訓練を行い新春恒例の行事を終わりました。

表彰に輝く人々

◇山口県消防協会長表彰

功績章

久津分団分団長　島田武夫
大浦分団分団長　川口真次
田久道分団分団長磯部　衛

勤続章

（四〇年以上）
河原分団副分団長　松山武彦
（三五年以上）
川尻分団副分団長　福本正美
（三〇年以上）
伊上分団副分団長　岡村　登
〃　班長　三井　進
〃　〃　和田博至
〃　〃　上田研一
蔵小田分団副分団長高木孝一
〃　班長　宮崎　繁
立石分団副分団長　村川義人
〃　班長　荒川止一
本郷分団副分団長　大野清治
〃　団員　飯田　弘
〃　〃　中谷澄夫
（二五年以上）
人丸分団　班長　松岡昭雄
〃　団員　岡田賢義
〃　〃　青木秀三郎
河原分団　団員　中村昭松
〃　〃　片倉太市
蔵小田分団団員　藤枝　司
〃　〃　松岡徳行
〃　〃　横田　実
立石分団　団員　村木秀雄
角山分団　団員　福永敏雄
久津分団　班長　本永　博
本郷分団　団員　谷野　茂
川尻分団　班長　品川　勉
（二〇年以上）
蔵小田分団団員　長尾政夫
〃　〃　河村義一
角山分団　〃　鈴川千尋
川尻分団　班長　村田忠政
川尻分団　団員　永松正志
〃　〃　末富和夫
（一五年以上）
人丸分団　団員　天野雅介
角山分団　班長　山本光宏
久津分団　班長　津室嘉久
〃　団員　村田良一
大浦分団　中西正治
本郷分団　班長　堀川　正
〃　団員　深田　昭
田久道分団分団長　磯部　衛
〃　班長　藤岡源治
〃　〃　中屋儀一
〃　団員　岡島昭正
〃　〃　三宅和昭
〃　〃　中村道夫
〃　〃　藤川俊治
〃　〃　三宅　清
〃　〃　磯部　弘
〃　〃　藤永　馨
〃　〃　川島　博
〃　〃　中村広志

感謝状

河原分団前副分団長藤井洋一
伊上分団　〃　植原治行

◇油谷町長表彰

河原分団　団員　窪田征雄
伊上分団　〃　秋田邦夫
津黄分団　〃　上田九一
後畑分団　〃　作村　博
角山分団　〃　金本光生
本郷分団　〃　大谷恭二
田久道分団　〃　熊本　豊

◇油谷町消防団長表彰

人丸分団　団員　高橋貞行
蔵小田分団　〃　満田修治
立石分団　〃　吉岡徹男
久津分団　〃　川島義治
大浦分団　〃　井関信正
川尻分団　〃　中村繁成

こちら119

◇春の火災予防運動始まる

（2月29日～3月13日）

春先は気象条件により、火災が発生しやすく、また大火となりやすいので、火の元には十分注意してください。

◇山火事防止

○火入れをするときは必ず消防署に届出をしてから行ってください。
○たき火のあとしまつは完全にしましょう。
○たばこやマッチの投げ捨て、子供の火遊びは火事のもとになります。

◇火災時の連絡は迅速に

火災の通報は局番なしの**一一九**（集団の場合は〇一一九）番へ、「事故発生の場所」「附近の目標物」「事故の状況」「通報者の名前」「通報しているところの電話番号」をハッキリと通報してください。

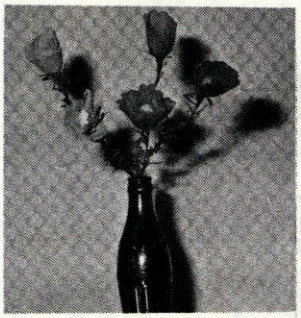
町内寝たきり老人に"福祉の花"を

――一少女から――

昨年一二月末、町役場庁舎の大掃除の際、玄関脇に何時からともなく置かれていたダンボール箱を職員が調べたところ、中に造花（カーネーション）を五本づつコーラのビンにさしたもの二四組、合計一二〇本が入っており、更に、一番底に封書があって、次のような手紙が入っておりました。

「これは、仕事の合間を見て作ったものです。少しではありますが一五日が敬老の日ですので、お年よりの方に、差上げていただければうれしく思います。

ある少女より」



発見がおくれ、本人のご意志のように敬老の日にお贈り出来なかったことを大変残念に思い、またご本人に対してほんとうに相すまない次第であります。

ご本人のご意志がわかりましたので、早速一月二九日の民生児童委員会で、この件を報告し、町内寝たきり老人におとどけ致しました。

以上お贈りいただきました一少女の方にご報告申し上げますと共に、町民の皆様へ〝福祉の花〟としてお知らせします。

共同募金及び歳末たすけあい募金のお礼

共同募金及び歳末たすけあい募金につきましては、各位の深いご理解と、ご協力により円滑に推進されましたことを、本紙をかり、厚くお礼申し上げます。

特に、油谷小学校、大平小学校の児童の皆さんは、小使い銭を倹約して歳末たすけあい募金にご協力くださいましたことを、重ねてお礼申し上げます。

人権擁護委員をごぞんじですか

油谷町では、次の二名の方が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されておりますので、人権にかかわる諸問題については、気軽にご相談ください。

東大坊　飯田利春　TEL (2) 〇七八三

田久道　西嶋幸宣　TEL (4) 〇五〇三

委員の職務は次のとおりです。

(一)、自由人権思想に関する啓もう及び宣伝をすること

(二)、民間における人権擁護運動の助長に努めること

(三)、人権侵犯事件につき、その救済のため、調査及び情報の収集を行い、法務大臣への報告、関係機関への勧告等適切な処置を講ずること

(四)、貧困者に対し、訴訟援助その他その人権擁護のため適切な救済方法を講ずること

(五)、その他人権の擁護に努めること

公民館での結婚式について

本町では簡素を旨とし、心豊かで厳粛な結婚式を願い、油谷町式結婚式を提唱してきました。

油谷町方式の普及定着に伴い、町立公民館を利用される方も増加しつつありますが、その使用については管理運営規則で定めるものの外、次のようになりましたからお知らせするとともにご協力方をお願いします。

◉町立公民館を結婚式及びこれに伴う披露宴会場として使用を希望される方へは、公民館の平常の業務に支障のない場合に限り、必要な諸条件をつけて許可します。

◉公民館の行う定期的な学級講座等の開設予定日でないとき。

◉油谷町式結婚式の主旨に則り挙式をすること。

◉披露宴を伴う結婚式の場合は月三回を限度とします。

◉ただし挙式のみの場合はこの限りでない。

◉また披露宴のみに使用する場合は許可しません。

◉披露宴の参加人員は七〇名をこえないものとし

◉これに伴う時間は二時間以内とします。

◉服装は華美にならないよう質素を旨とし、色なおしは一回とします。

◉使用許可の申請は使用予定日の二か月前から受付け一か月前に許可または不許可の通知をします。

◉使用の申出は電話ではお受けいたしませんのでご面倒でもご本人が印かんをご持参のうえ中央公民館までおこしください。

昭和50年度　ごみ収集業務日割表

（週2日　水・土曜日）　（菱海地区）

月別	収集日									計
2月	4	⑦	11	14	18	21	25	28	—	8
3月	3	⑥	10	13	17	20	24	27	31	9

（週2日　月・木曜日）　（向津具・蔵小田地区）

月別	収集日									計
2月	2	⑤	9	12	16	19	23	26	—	8
3月	1	④	8	11	15	18	22	25	29	9

（週2日　火・金曜日）　（宇津賀・川尻地区）

月別	収集日									計
2月	3	⑥	10	13	17	20	24	27	—	8
3月	2	⑤	9	12	16	19	23	26	30	9

1. 収集日は日割表のとおりですが各収集日の〇印の日には、燃えないもの（空かん・空びん等）と燃えるもの（残菜、紙くず、ポリ・ビニール製品等）の同時収集日といたします。なお、〇印以外の収集日は燃えるものだけの収集日とします。
2. ごみ専用ビニール袋の必要な方は各農業協同組合購買部であっせんしていただいておりますのでご利用下さい。
3. 見やすいところにはってご利用下さい。

お知らせ

◎通信制生徒募集

山口県立山口高等学校では。「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる通信制課程の生徒を募集しています。

○募集人員
普通科　３００名
衛生看護科　１００名

○入学資格
中学校卒業者、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者。衛生看護科は准看護婦養成施設の生徒であること。

○願書締切
4月15日

詳細は、〒山口市糸米１の９の１
山口県立山口高等学校通信制まで
ＴＥＬ山口②８５１１

◎職業訓練生募集

◇科目・修業年限
電子機器科　1か年
無線通信科　1か年

◇願書受付
3月末日まで
年令、性別の制限なし

詳細は、豊浦郡豊北町粟野
豊北技能専門学校　ＴＥＬ粟野33番
に問い合せください。

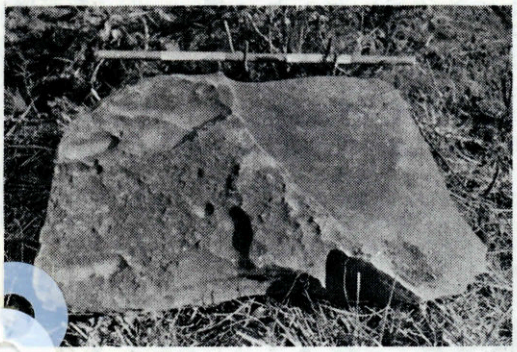
◎防犯外燈には 110ボルト用電球を

普通電球には、１００ボルトと、１１０ボルト用の２種類があります。防犯外燈には、明るさは少しおちますが、電球の寿命が長く経済的な１１０ボルト用電球をおすすめします。

～中国電力から～

町内めぐり 伝説の石 ②

巨人の石



川尻から川尻岬へぬける向津具上上野助森の町道付近に「巨人」という所があり、そこにある石。

昔、巨人が杖をついてここから向いの見島へひとまたぎで渡ったという。その足跡が見島では八町八反の水田となり、上野にはその巨人の足のカカト跡と杖の跡、それに巨人は子供連れであったらしく、小さい足跡が二つ残っている石が「巨人の石」として見島を見渡せる高台に残っている。

また一説には、昔、天井ケ岳と見島をふた足で渡るほどの巨人が住んでいたという。ある日天井ケ岳に腰かけて大むすびを食べていたら、中から二個の石が出て来たので怒ってこれを投げた。一つは向津具の巨人の石に一つは角山笠頭山にあるという。

納税案内

固定資産税　四期
二月末日

国保保険料　五期
二月末日

◇所得税の申告と納税

所得税の確定申告と納税は、二月一六日から三月一五日までです

申告書の書き方などがおわかりにならない方は、税務署や役場税務課で相談を受けますので利用ください。

◇税務相談日

三月三日〜三月四日　九時半〜四時　油谷町役場
三月一三日—九時半〜十二時　長門税務署

三月一五日—九時半〜四時　長門税務署

◇贈与税の申告

昭和五〇年中に個人からもらった財産の合計額が六〇万円を超える人は、二月一日から三月一五日までに申告と納税をしてください

町内文芸

油谷短歌会

歳末の人のきづかぬひそけさに枇杷は茶色に白交へ咲く　天野白水郎
無造作に握る漁夫の手をはなれ朝の秋刀魚が市場に光る　境　勇
抜足に居残り白鷺が汀ゆく孤独なるもの鎧ふが如く　岡林　啓一
冬の色ただうはひかる日本海時雨ひとむら遠降り移る　松本　一夫
冬時化のゆるび来し朝岸壁に大きうねりの間をおきて寄す　中　白道

遠き日のざざめき甦りくるごとく葉洩れ陽揺るる白きベンチに　重村　弘之

油谷俳壇

課題「炬燵」

船路来て炬燵の見ゆる裏座敷　村上　有弘
置炬燵余生静かな老夫婦　窪田　幸代
祝ぎ言葉交はし炬燵の客増えし　藤永千鶴子
孫達の新居に電気炬燵遣る　高山　木舟
今日も雨炬燵に手習続け居り　林　黙水
すぐ帰るつもり炬燵に話し込み　岡本　月敲

川柳

大臣も人の子墓参やっと出来　平川　三照
新妻は釣った魚でエサやらず

人口と世帯

50年12月末現在住民基本台帳

人口	12,119人	転入	42人
男	5,755人	転出	38人
女	6,364人	出生	6人
世帯数	3,289世帯	死亡	12人